

1. 対象部材  
玄関ドア用ドアクローザ

略称：CjK ドアクローザ

2. 標準(共通)化の部位  
標準(共通)化の部位を図2に示す。

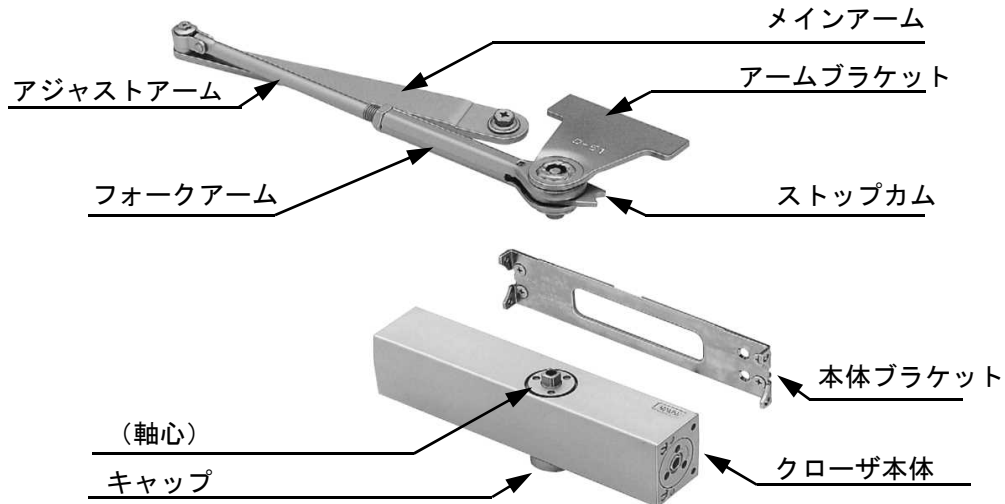


図1 - ドアクローザ 各部位の一般呼称

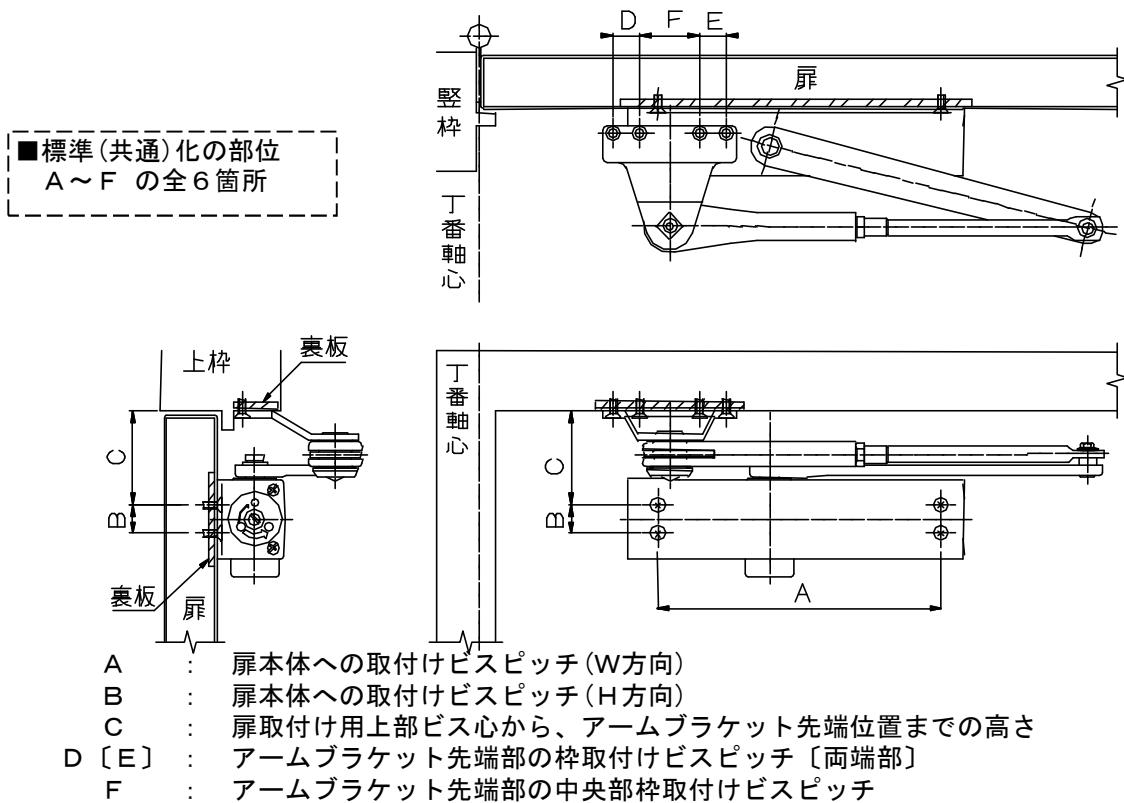


図2 - 標準(共通)化の部位

### 3. 寸法・形状

図2の部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の標準(共通)化寸法

項目	単位：mm		
	①	②	③
A	178		123
B	19		—
C	63	69	
D [E]	18		
F	40		

### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 運用上の注意点

- ・作動不良発生等の予防観点から、クローザのセット梱包となっている ドアクローザ本体 と、アームブラケット の両セットでの同時交換を必須とする。
- ・既存ドア本体に取付け済みのアームに、交換用クローザ本体だけの取替えは行わない。

#### 5.2 その他部位の推奨寸法について

図3に示す、アーム先端部軸心から扉本体へのビス止め位置(部位G)、及び、扉丁番の軸心から扉取付けビス位置までの寸法(部位H)の両部位を推奨寸法とし、表2に定める。

一般に、部位Gはアームの有す長さ調整代の範囲内で、相応の対応が可能であること、また、部位Hはドア本体とクローザ本体との取り付け位置を示す部位であることから、推奨寸法としての位置づけとする。

表2－推奨寸法

項目	単位：mm		
	①	②	③
G	8	36	2
H	145	87	164

### 6. 解説

特に無し

### 7. 共通事項

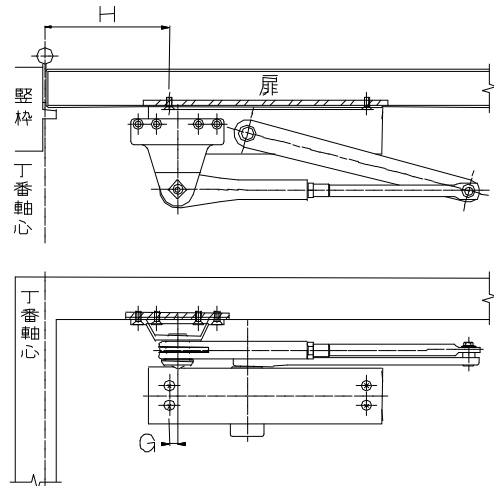
#### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、交差・許容差を表すものではない。

#### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記：専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。



G:アーム先端部軸心から扉本体へのビス止め位置

H:扉丁番の軸心から扉取付けビス位置までの寸法

図3－推奨寸法の部位

## 8. 改訂履歴

### 8.1 2014年3月20日改訂

- ・ ” 7. 共通事項 ” を基準書記載内容改訂により記載
- ・ 標準化の部位 G および H を 標準 (共通) 化寸法から推奨寸法へ変更
- ・ ” 5.2 その他部位の推奨寸法について ” を追記
- ・ 符号、書式の統一

### 8.2 2016年4月28日改訂

- ・ 対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・ 7.1寸法について記載内容改訂

### 8.3 2021年3月25日改訂

- ・ 表 1 および表 2 に ” ③ ” 追加